

かつしか教育情報化推進プラン「令和6(2024)年度～令和10(2028)年度 概要版」

第1章

計画の策定について

1 目的

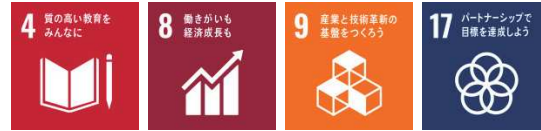
未来の創り手となる子どもたちが、これからの時代に求められる資質・能力を確実に身に付けることができる学校教育を実現するため、学校と教育委員会が教育の情報化の考えや方向性等のビジョンを共有し、一体となって教育の情報化の推進に取り組んでいくために策定

2 計画の位置付け

本区の総合計画である「葛飾区基本計画」や教育振興に係る基本的計画である「葛飾区教育振興基本計画」等で示されている目標を実現するための教育の情報化分野における実施計画

3 SDGsを踏まえた計画推進

SDGsの17のゴールのうち、4つのゴールの実現を目指す。



4 計画の期間

令和6(2024)年度から令和10(2028)年度までの5年間

第2章

葛飾区を取り巻く現状と課題

1 教育の情報化に関わる社会動向

学習指導要領では情報活用能力が学習の基盤となる資質・能力の一つとして位置付けられ、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進が求められている。さらに、「令和の日本型学校教育」の構築を目指すにあたり、ICTの活用は必要不可欠なものであることが示されている。また、令和4(2022)年には国の「学校教育情報化推進計画」が策定され、4つの基本方針と実現のための個別施策が整理された。

2 葛飾区の情報化の現状と課題

平成31(2019)年に策定した葛飾区の情報化分野の行動計画「かつしか教育情報化推進プラン」に沿った教員向けアンケート調査等から、明らかになった課題は下記のとおりである。

- 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現、また、それらの要素を組み合わせた「主体的・対話的で深い学び」の実現のための授業改善に向けた、さらなるICT活用の推進
- 教員に対する研修の実施や、ICT支援員・学校情報アドバイザー等支援体制の充実と推進体制の構築
- さらなる校務事務の効率化による学校の働き方改革の推進

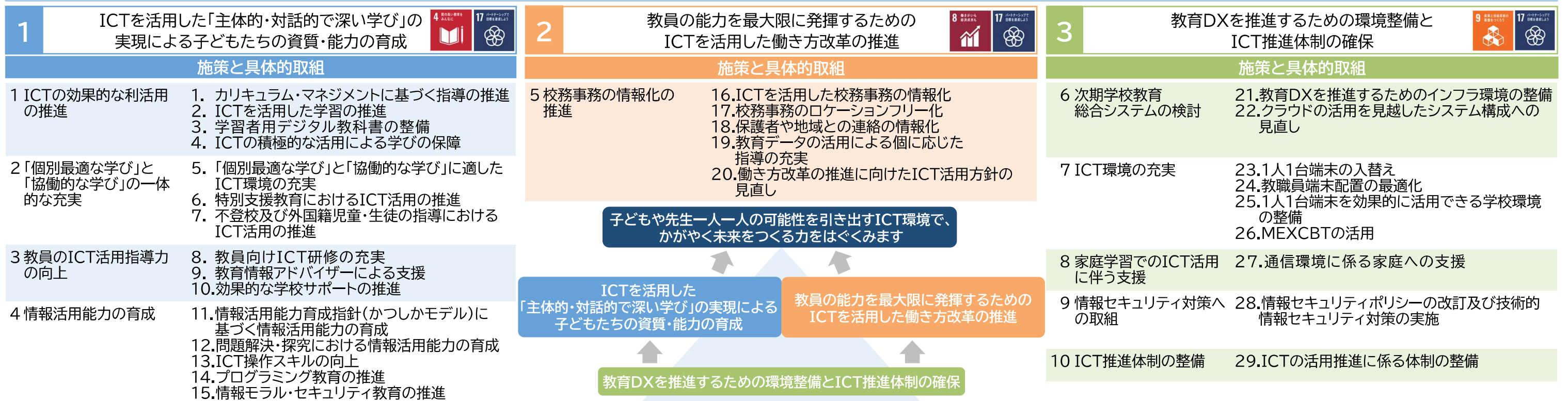
第3章

葛飾区が目指す方向性

コンセプト

子どもや先生一人一人の可能性を引き出すICT環境で、かがやく未来をつくる力をはぐくみます

基本方針



第5章

計画の推進に向けて

1 計画の進捗管理

本計画で定めた具体的施策の進捗状況や数値目標の達成状況を確認するため、年に1回現状調査を実施し、その結果については、葛飾区教育情報化推進委員会で報告し、進捗を管理する。

2 関係各課との連携協力

本計画の推進に当たっては、各具体的施策の主管課が中心となって進め、教育委員会事務局内のみならず、学校や区長部局も含めた関係各課とも連携や協力を強化しながら取り組む。

3 推進に向けた留意事項

- (1) 教育委員会内部の体制整備
- (2) 外部委託の活用
- (3) 教育委員会、学校、保護者及び地域の連携
- (4) 既存のICT環境等の有効活用
- (5) 教育の情報化における費用対効果

